

[研修委員会]

《報告》 研修啓発部会

1、平成31年度基礎研修ⅠⅡⅢ日程及び講師予定者（別紙参照）

2 研修委員会 基礎研修リーダー会議（別紙参照）

平成31年 4月20日 13:00～15:00事務局奥

基礎研修 I 集合研修プログラム①

2019年8月31日(土) 時間:受付 9:00 研修 9:30~17:00

研修会場:ホテルリブマックス千葉美浜

講師名	時間	科目	ねらい
講義 千葉県社会福祉士会 会長 渋沢茂	60分 (9:30 ~10:30)	生涯研修制度独自 科目 ・社会福祉士会の あゆみ	日本社会福祉士会と都道府県社会福祉士会の あゆみを知り、専門職団体として目指すところ を知る。
講義 千葉県社会福祉士会 事務局長 榎林元樹	60分 (10:30 ~11:30)	生涯研修制度独自 科目 ・日本社会福祉会、 都道府県社会福祉士 会の組織	専門職団体としての日本社会福祉士会、都 道府県社会福祉士会の現状を知る。
講義 千葉県社会福祉士会 研修委員長 浅見雅人	90分 (12:30 ~14:00)	生涯研修制度独自 科目 ・生涯研修制度	生涯研修制度の目的、役割、仕組み今後の 取り組みを知る。
演習 千葉県社会福祉士会 研修委員会 堀江 亜希子	150分 (14:00~ 16:30)	ソーシャルワーク理 論系科目 I ・社会福祉士としての 専門性について考え る	社会福祉士の専門性に気づき、自らの将来像 を描く。その目標に向かって研修に臨むことが できる。

☆講師名は予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

基礎研修 I 集合研修プログラム②

2020年2月9日(日) 時間:受付 9:00 研修 9:30~17:00

研修会場:ホテルリブマックス千葉美浜

講師名	時間	科目	ねらい
講義 千葉県社会福祉士会 研修委員会 大橋美和	90分 (9:30 ~11:00)	ソーシャルワーク理 論系科目 I ・社会福祉士に共通 する専門性の理解	社会福祉士の共通基盤について理解し、どの分 野や立場においても必要な専門職の力量に ついて理解する。
講義 千葉県社会福祉士会 研修委員会 堀江亜希子	90分 (11:00 ~12:30)	権利擁護・法学系 科目 I ・倫理綱領・行動規範 の理解	社会福祉士の倫理綱領・行動規範について、 専門職として倫理綱領を持つ意味を理解する。
演習 千葉県社会福祉士会 研修委員会 田尻 真人	180分 (13:30 ~16:30)	権利擁護・法学系 科目 I ・社会福祉士の倫理 綱領の実践適用	社会福祉士の倫理綱領・行動規範について、 実際の事例を通してその役割や意義を学ぶ。

☆講師名は予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

2019年度 基礎研修Ⅱ概要

会場：ホテルリブマックス千葉美浜

☆講師名は予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

千葉	日程	科目	研修番号	研修テーマ	研修時間	研修内容	研修方法
集合研修①	2019年5月26日(日) 受付 9:00～ 研修 9:30～17:00 講師： 社会同 社会福祉士会 浅見雅人	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	集合研修1	相談援助の形態と社会福祉援助の展開過程	講義：180分	相談援助サービスの形態 ソーシャルワーカーの機能 社会福祉援助の展開過程	「基礎研修テキスト」上巻を使用し講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
集合研修②	2019年6月16日(日) (午前のみ) 受付 9:00～ 研修 9:30～13:00 講師： 千葉県社会福祉士会 研修委員会 小野寺浩	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	集合研修2	実践のためのアプローチ	講義：180分	エンパワメントアプローチとは アプローチによる実践の比較 危機介入アプローチの実践	「基礎研修テキスト」上巻を使用し講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
集合研修③	2019年7月21日(日) 受付 9:00～ 研修 9:30～17:00 講師： 地域生活支援センターふらる 佐藤滋洋	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	集合研修3	自立生活支援とコミュニケーションワーク	講義：180分	社会福祉における生活のとらえ方 生活をとらえる視点 地域自立生活支援とコミュニケーションワーク	「基礎研修テキスト」上巻を使用し講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
集合研修④	2019年8月25日(日) 受付 9:00～ 研修 9:30～17:00 講師： 千葉県社会福祉士会 研修委員会 矢戸孝紀	地域開発・政策系科目Ⅰ	集合研修4	実践事例演習Ⅰ	演習：360分	理論を言語化する アセスメント、支援目標の設定と、支援計画策定 チームアプローチと組織間ネットワーク ケア会議の進め方(モニタリング、評価、ネットワーク)	「基礎研修Ⅰワークブック」を使用して演習を行う。 事例を用いてロールプレイを行う。事例検討ではなく、展開過程を理解するための講義、演習を行う。 ※事前課題：7月21日当日提出 設定された課題についてレポートをまとめる。
集合研修⑤	2019年9月29日(日) 受付 9:00～ 研修 9:30～17:00 講師： 千葉県社会福祉士会 研修委員会 矢戸孝紀	地域開発・政策系科目Ⅰ	集合研修1 集合研修2 集合研修3 集合研修4	連携システムのあり方とネットワーク構築 地域における福祉政策と福祉計画	講義：180分 講義：180分 講義：180分 講義：180分	社会資源とは、社会資源の選別、社会資源の開発 所属組織が所在する地域特性から考えられる住民生活の特性について 所属組織が所在する地域で今後必要と思われる社会資源について 地域における連携システム ネットワークの構築 地域の連携システムとネットワークを構築するための工夫 所属組織が所在する自治体の福祉計画について 地域における自治体の役割について 所属組織が所在する地域の住民福祉活動やボランティア活動の実態や課題 地域の福祉政策を知る手掛かりや活用方法について 福祉行政の計画化、計画策定のプロセス、福祉計画の推進と住民参加 地域特性と福祉計画の関与について 地域で展開されている住民活動の現状と課題について 社会福祉調査とは、調査のプロセス、調査の方法 社会福祉調査を企画について 所属組織が所在する地域の実際の調査について	「基礎研修テキスト」上巻を使用し講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。 ※事前課題：8月25日当日提出 設定された課題についてレポートをまとめる。 「基礎研修テキスト」上巻を使用し講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。 ※事前課題：9月29日当日提出 設定された課題についてレポートをまとめる。 講義の前に「基礎研修テキスト」上巻を使用し講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。 ※科目終了レポート：12月8日提出

2019年度 基礎研修Ⅱ概要

会場：ホテルリブマックス千葉美浜

☆講師名は予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

千葉	日程	科目	研修番号	研修テーマ	研修時間	研修内容	研修方法
集合研修 ⑥	2019年10月20日(日) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師： 千葉県社会福祉士会 研修委員会 石山明子	人材育成系科目Ⅰ	集合研修1	スーパーバイザーとは	講義：120分	『スーパーバイザー』と『スーパーバイザー』におけるスーパーバイザーの役割について概要を説明する。 またスーパーバイザーとして必要な心得を伝え、モラルを学ぶ。	『基礎研修テキストスーパーバイザー』『基礎研修Ⅱワークブック』を使用し講義を行う。 講義及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
			集合研修2	スーパーバイザーのモデルセッションを見る	講義：120分 演習：120分	スーパーバイザーとしての基本 スーパーバイザーの実践(スーパーバイザーとして) モデル事例を用いてスーパーバイザー役を行う。	『基礎研修テキストスーパーバイザー』『基礎研修Ⅱワークブック』を使用し講義を行う。 5~6名のグループ構成において模擬事例を使用し、スーパーバイザー体験をする。 他の受講者は観察をし、振り返りを通じて共有する。
集合研修 ⑦	2019年11月17日(日) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師： グループホーム小栗口の家 大橋輝巳	権利擁護・法学系科目Ⅰ	集合研修1	社会福祉における法Ⅰ	講義：180分	人権の歴史 社会福祉士実践と法理念(憲法25条及び13条、社会福祉法の理念など) 憲法14条「法の下の平等」と格差問題 自己決定と自己責任の間 立法上の権利 契約上の権利 行政手続の法 権利の救済(行政訴訟、行政不服審査など)	『基礎研修テキスト上巻』を使用して講義を行う。 グループ討議、フィードバックの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
			集合研修2	ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ	講義：180分	ソーシャルワークと権利擁護の視点 権利擁護を支える理念(自己決定、エンパワメント、アカウンタビリティ、セルフアドボカシー) 権利擁護の諸制度(成年後見制度・虐待対応について含む)	『基礎研修テキスト上巻』を使用して講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
集合研修 ⑧	2019年12月8日(日) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師： 千葉県社会福祉士会 研修委員会 石山明子	権利擁護・法学系科目Ⅰ	集合研修3	社会福祉における法Ⅱ	講義：180分	民法の構成 権利主体、客体と法律行為 成年後見 契約	『基礎研修テキスト上巻』を使用して講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
			集合研修4	ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	講義：180分	権利擁護実践事例1(独居高齢者の成年後見制度の活用事例) 権利擁護実践事例2(障害者における消費生活相談の回復)	『基礎研修テキスト上巻』を使用して講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
集合研修 ⑨	2020年1月12日(日) 受付 9:00~ 研修 9:30~19:30 講師： 松山福祉専門学校 宮本哲男	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	集合研修1	実践研究の意義と方法	講義：180分	実践研究とは何か 実践研究が求められる理由 社会福祉における実践研究の定義 日本社会福祉士会の歩みにみる実践研究への道のり	『基礎研修テキスト上巻』を使用して講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
			集合研修2	実践研究のための記録	講義：180分	記録の目的 多様な記録の用途 実践研究を進めるうえでの実践記録の必要性 よい記録をとるための留意点 ビジュアルアセスメントツールの活用	『基礎研修テキスト下巻』を使用して講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
			集合研修3	実践評価の方法	講義：180分	実践評価とは 実践評価の種類 評価目的による分類 実践評価の方法	『基礎研修テキスト下巻』を使用して講義を行う。 講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
集合研修 ⑩	2020年2月16日(日) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師： 会社浅見福祉サービス 浅見雅人	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	集合研修4	実践研究発表の方法	講義：240分 演習：240分 プレゼンテーション：120分	実践研究の具体的な方法 実践研究に基づき論文作成の留意点 実践研究論文の具体的な事例を提示し、論文の組み立て方や研究方法、倫理的配慮等について 自分自身の実践事例のプレゼンテーション(発表→質問→相互評価)	『基礎研修Ⅱワークブック』で設定されている事前課題を受講者に課す。 『基礎研修テキスト下巻』を使用して講義を行う。 『基礎研修Ⅱワークブック』を使用して演習、プレゼンテーションを行う。 ※科目修了日:2月16日当日提出 ※科目修了レポート:2月22日提出(事務局へ郵送) 設定された課題についてレポートをまとめる。

合計時間数：  
3,600分

2019年度 基礎研修Ⅲ概要 会場：ホテルリブマックス千葉美浜 ☆講師名は予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

千葉	日程	科目名	研修テーマ	研修時間	研修内容	研修方法
集合研修 ①	2019年5月25日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師: 千葉県社会福祉士会 研修委員会 宮下朱実	実践評価・実践研 究系科目Ⅰ	集合研修1	講義:90分	対人援助の本質と事例研究の定義	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。
			集合研修2	講義:90分	事例研究の基本枠組み	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。
			集合研修3	講義:180分	事例研究の方法としてのケースカンファレンスについて 一有意義な展開のための40のポイント	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。
集合研修 ②	2019年6月15日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師: 千葉県社会福祉士会 研修委員会 宮下朱実	実践評価・実践研 究系科目Ⅰ	集合研修4	講義:90分	事例のまとめ方(事例研究用フェイスシート、経過記録、全体の所感・論点・要望)	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ※出題課題:7月20日当日提出 『事例研究のまとめ方』について講義を受けた上で、指定された フォーマットに基づいて自身の実践事例をまとめる。
			集合研修5	報告会:210分	自身の実践の計画、振り返り、改善 報告発表	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して報告会を行う。 報告会:各自が作成した事前課題の報告を行う。報告後に各 グループで振り返りを行い、最後に講師が全体講義を行う ※事前課題:6月15日当日提出 ※科目修了レポート:6月15日当日作成提出 ソーシャルワークの実践理論に基づき、個人、地域、組織におい での相談援助の基礎が理解できているかの課題をまとめる。
集合研修 ③	2019年7月20日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師: 千葉県社会福祉士会 研修委員会 宮下朱実	実践評価・実践研 究系科目Ⅰ	集合研修5	講義:60分 演習:210分	事例検討会を受講者自ら企画、運営し、自身の実 践についての評価・検証を行う	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義及び演習を行う。 ・演習:標準事例検討会を実施する。
			集合研修1	講義:90分 演習:270分	意思決定の支援(講義) 意思決定の支援(演習) 権利侵害の防止と対応についての演習	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・演習:講師とピアサリネーターによる権利侵害の対応等事例演 習を行う。 ※事前課題:8月24日当日提出 資料を読みレポートを作成する ※科目修了レポート:10月19日当日提出 設定された課題についてレポートを作成する
集合研修 ④	2019年8月24日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師: 千葉県社会福祉士会 研修委員会 竹村葉子	権利擁護・法学系 科目Ⅰ	集合研修1	講義:90分 演習:270分	意思決定の支援(講義) 意思決定の支援(演習) 権利侵害の防止と対応についての演習	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・演習:講義をふまえて、生活課題から社会資源の調査やネット ワーク構築、課題解決に向けた具体策の検討について所定の ワークシートを用いた個人ワークやグループワークを行う。各自 が作成した課題を用いて、意見交換や相互評価を行う。
			集合研修2	講義:90分 演習:360分	地域における福祉計画 地域における福祉活動 地域における福祉活動の実践 地域における福祉活動の実践について	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・演習:講義をふまえて、生活課題から社会資源の調査やネット ワーク構築、課題解決に向けた具体策の検討について所定の ワークシートを用いた個人ワークやグループワークを行う。各自 が作成した課題を用いて、意見交換や相互評価を行う。 ※事前課題:9月28日当日提出 設定された課題についてレポートを作成する ※中間課題:10月19日当日提出 地域の課題解決に向けて、自組織に求められている課題と今後 の方向性についてまとめる
集合研修 ⑤	2019年9月28日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師: 赤門ケアプランセンター 長嶋祐一	地域開発・政策系 科目Ⅰ	集合研修1	講義:90分 演習:210分	地域における福祉計画 地域における福祉活動 地域における福祉活動の実践 地域における福祉活動の実践について	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・演習:講義をふまえて、生活課題から社会資源の調査やネット ワーク構築、課題解決に向けた具体策の検討について所定の ワークシートを用いた個人ワークやグループワークを行う。各自 が作成した課題を用いて、意見交換や相互評価を行う。 ※事前課題:9月28日当日提出 設定された課題についてレポートを作成する ※中間課題:10月19日当日提出 地域の課題解決に向けて、自組織に求められている課題と今後 の方向性についてまとめる
			集合研修2	講義:90分 演習:360分	地域における福祉計画 地域における福祉活動 地域における福祉活動の実践 地域における福祉活動の実践について	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・演習:講義をふまえて、生活課題から社会資源の調査やネット ワーク構築、課題解決に向けた具体策の検討について所定の ワークシートを用いた個人ワークやグループワークを行う。各自 が作成した課題を用いて、意見交換や相互評価を行う。 ※科目修了レポート:12月7日当日提出 ・再考した結果を踏まえ、計画を具体化するための具体策や今 後の方向性についてまとめる
集合研修 ⑥	2019年10月19日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師: 赤門ケアプランセン ター 長嶋祐一	地域開発・政策系 科目Ⅰ	集合研修2	講義:90分 演習:360分	地域における福祉計画 地域における福祉活動 地域における福祉活動の実践 地域における福祉活動の実践について	『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・演習:講義をふまえて、生活課題から社会資源の調査やネット ワーク構築、課題解決に向けた具体策の検討について所定の ワークシートを用いた個人ワークやグループワークを行う。各自 が作成した課題を用いて、意見交換や相互評価を行う。 ※科目修了レポート:12月7日当日提出 ・再考した結果を踏まえ、計画を具体化するための具体策や今 後の方向性についてまとめる

2019年度 基礎研修Ⅲ概要 会場：ホテルリブマックス千葉美浜 ☆講師名は予定です。当日変わる場合がありますのでご了承ください。

千葉	日程	科目名	研修テーマ	研修時間	研修内容	研修方法
集合研修 ⑦	2019年11月16日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~19:30 講師: 松山福祉専門学校 宮本哲男	サービス管理・経営 系科目Ⅰ	集合研修1	講義:180分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いま、なぜ福祉に“経営”なのか</li> <li>・福祉経営の変遷</li> <li>・社会福祉士が経営をとらえる視点</li> <li>・組織のミッションとコンプライアンス</li> <li>・サービス管理</li> <li>・リスクマネジメント</li> <li>・公益法人としての法人経営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修テキスト「下巻」を使用して講義を行う。</li> <li>・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う</li> </ul>
			集合研修2	講義:180分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉支援の評価</li> <li>・サービス評価が必要とされる背景</li> <li>・サービス評価の視点と枠組み(業者評価・利用者評価・第三者評価)</li> <li>・サービス評価の実務</li> </ul>	
			集合研修3	講義:180分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情のとりえ方</li> <li>・苦情解決システム(苦情解決の仕組みの意義・苦情解決における役割・しくみ)</li> <li>・苦情解決の実務</li> </ul>	
集合研修 ⑧	2019年12月7日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師: グループホーム古渡口の 家 大橋輝巳	サービス管理・経営 系科目Ⅰ	集合研修4	演習:300分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属組織のサービス評価の仕組み、管理方法、評価方法について</li> <li>・所属組織のリスクマネジメントの仕組み、苦情解決システムについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修Ⅲワークブックを使用して演習を行う。</li> <li>・講義内容をふまえて、事前課題で作成した所属組織の現状及び改善課題についてグループ内で、表し共有する。その後、講義のポイント①②の課題について対応できるような演習を行う科目終了レポートを受講者に課す。</li> <li>※事前課題:12月7日当日提出 課題1:所属組織のサービス評価のしくみ、万里方法、評価方法についてまとめる</li> <li>課題2:所属組織のリスクマネジメントのしくみ、苦情解決システムについてまとめる</li> <li>※科目終了レポート:1月11日提出 課題1:所属組織の仕組みをふまえて、サービス管理・改善等を行う場合の働きかけ先・方法・タイミング等についてレポートにまとめる</li> <li>課題2:他職種のサービス管理方法と対比化し、改善課題をレポートにまとめる</li> </ul>
			集合研修1	講義:120分 演習:120分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパージョンのモデルを身ながら、スーパージョンのプロセスと視点について再確認をする</li> <li>・スーパージョンの基本的考え方</li> <li>・スーパージョンのプロセス</li> </ul>	
集合研修 ⑨	2020年1月11日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師: 千葉県社会福祉士会 研修委員会 石山明子	人材育成系科目Ⅰ	集合研修1	講義:120分 演習:120分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパージョンのモデルを身ながら、スーパージョンのプロセスと視点について再確認をする</li> <li>・スーパージョンの基本的考え方</li> <li>・スーパージョンのプロセス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修テキスト「スーパージョン」を使用して講義を行う。</li> <li>・基礎研修Ⅲワークブックを使用して演習を行う。</li> <li>・一連のモデル・スーパージョンを見て共有した後、講師とともにスーパージョンのプロセスを振り返る。</li> <li>・体験シートを使い体験する。</li> <li>※事前課題:1月11日当日提出 スーパージョン自己チェックシート記入</li> </ul>
			集合研修2	講義:80分 演習:240分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を振り返りながら、所属組織におけるソーシャルワーク業務の内容及び社会福祉士の役割について体系的に説明し、後進育成プログラムの立案について企画・運営プログラムを立案する</li> <li>・自己の職場実践について説明</li> <li>・自己チェックの実施(自己の振り返り)</li> <li>・研修プログラムの立案</li> </ul>	
集合研修 ⑩	2020年2月15日(土) 受付 9:00~ 研修 9:30~17:00 講師: 千葉県社会福祉士会 研修委員会 石山明子	人材育成系科目Ⅰ	集合研修2	講義:80分 演習:240分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を振り返りながら、所属組織におけるソーシャルワーク業務の内容及び社会福祉士の役割について体系的に説明し、後進育成プログラムの立案について企画・運営プログラムを立案する</li> <li>・自己の職場実践について説明</li> <li>・自己チェックの実施(自己の振り返り)</li> <li>・研修プログラムの立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修テキスト「スーパージョン」を使用して講義を行う。</li> <li>・基礎研修Ⅲワークブックを使用して演習を行う。</li> <li>・それぞれの実践者チェックシートを確認しながら振り返り、それをもとに業務の内容や社会福祉士の役割についての説明に関するディスカッションを行う</li> <li>・自己の振り返りをもとに、後進育成のために求められる研修プログラムを立案する</li> <li>※事前課題:2月15日当日提出 自己チェックリストの記入</li> <li>※科目終了レポート:3月2日必着 事務局へ郵送</li> </ul>

合計時間数:  
3,390分

## 2019年度千葉県社会福祉士会研修員会研修啓発部会リーダー会議議事録

日時：平成31年4月20日（土）13時から15時

場所：千葉県社会福祉士会

出席者：浅見、宮本、神山、宮下、西村、堀江、鈴木（さやか）、田尻、長嶋（書記）（敬称略）

議題：

### 1. リーダー会議の目的

研修委員への協力者が増えており、2019年度では委員が40名前後（平成31年3月2日現在）になると思われる。そこで通常の委員会議の前に、課題整理等を行う会議として各研修会の意思疎通を定期的に図っていきたい。

### 2. メンバー

浅見、宮本、宮下、堀江、鈴木（さやか）、西村、石山、矢戸、田尻、長嶋、染野、神山

\*研修委員兼部会名簿は個人情報保護法を踏まえ取扱いに留意すること。

### 3. 基礎研修について

#### （1）基礎研修Ⅰ

プログラムの確認を行い、約60名程度の応募が予想されている。昨年度のアンケートを踏まえると、各科目、講師に対する期待が大きいと思われる。日本会への要望もあり、講師にフィードバックする。

#### （2）基礎研修Ⅱ

プログラムの確認を行い、約40名程度の応募が予想されている。担当者が欠席にて、石山よりメールにて。年間を前半、後半でリーダーを立て運営。新規スタッフの協力を希望。アンケートの集計から振り返りを行った。2019年度につなげたい。

#### （3）基礎研修Ⅲ

プログラムの確認を行い、約30名の応募が予想されている。講師の変更有。6月15日の当日提出レポートについては5月25日の研修時にアナウンスが必要。事前レポートの受け取り、受付、グループ分、レポートのチェックなど、新規スタッフの協力を希望。

#### （4）その他

基礎研修委員の協力者が多数。協力者の人柄、能力など踏まえて各グループで声を掛ける。今年度基礎研修Ⅲ修了者からの協力申し出については宮本が確認をしていく。

### 4. 2019年度研修委員会組織と業務について（資料を基に）

#### （1）地域貢献事業

#### （2）基礎研修Ⅰ

#### （3）基礎研修Ⅱ

#### （4）基礎研修Ⅲ

#### （5）社会福祉士実習指導者養成

#### （6）淑徳大学講師派遣

\*2019年度「卒後教育と人間開発Ⅰ、Ⅱ」シラバスを基に説明。千葉県社会福祉士会として2019年度も講師派遣する。

#### （7）社会福祉士取得支援事業

①東京成徳大学

②和洋女子大学

③民間企業との協働により、インターネットを利用した受験者支援システム

\*国家試験解答解説も実施

(8) 独自事業

①基礎研修修了者対象ワンアッパ研修

\*今回は応募者が少なく、参加費用も高額で見合わせてしまったのかもしれない

②グループソーシャルワーク

\*テーマと内容の検討。高齢者領域の講師が多くなってしまいが、職種全般を対象に横断的なテーマ、内容になると良い。

③社会福祉士への学び研修

\*基礎研修Ⅰの「先輩社会福祉士から学ぶ」をテーマにしたレポート作成への支援に留まらず、多数の会員にも参加できる内容も検討。当初検討していた同テーマのチラシ配布は中止（基礎研修Ⅰリーダー副リーダー及び部会長、委員長、副委員長交えて再協議を実施）

5. 事務局より

(1) 振替受講

(2) 他県からの受入れ

会場の規模を検討し、例年通りの受入数であれば問題ないと思われる

(3) 日本会より基礎研修の統一受講番号付記について

(4) プリペイドカードの携帯使用について

6. 支えあい配分委員会

年間10件程度あり

7. その他（荒天時等の連絡体制について）

8. 次回

平成31年7月28日（日）14時から

千葉県社会福祉士会にて